

# 中学校における情報モラル教育と著作権教育

安藤 忠展<sup>\*1</sup>, 浅野 竜也<sup>\*2</sup>

本校は生徒に一人につき1つのIDとパスワードを配付して、ネットワークの利用をしている。生徒へのIDとパスワードの配付は生徒に責任を持たせるためである。また、本校は生徒には掲示板やメールなどの利用についての正しい知識を身につける指導を行っている。さらに、本校は情報モラルの育成についても取り組んでいる。

<キーワード> 情報モラル, カリキュラム, 意識調査, 指導事例, 中学校, 校内LAN

## 1. はじめに

私たちは、生徒が学校生活をより楽しくより豊かに協調的に過ごせることや、学校での活動と家庭との双方向の情報交流を深めていくことができるように、生徒自身が日常活動の中でITを活用して、自主的、創造的に活動できるようにしていきたいと考え、そのための環境づくりを行っている。その中で、ITで単に実用性や効率性だけを求めるのではなく、人と人の気持ちを大切にしたい実質的なIT活用、ICTの有用性に気付かせていきたいと考えている。また、次世代に対応できる人間の教育をめざして、ITに関わるモラルの向上とともに、本校の生徒及び指導者の知的財産権（知的所有権）の知識を増し、意識を高めることで、将来にわたり生徒が、自主的、創造的に生活ができるように、生きてはたらく思考力と判断力が身につけることをねらいとしている。

## 2. 本校のIT環境

本校は、大学と専用線（光ファイバー5M）で

結ばれており、高速の通信が可能になっている。校内ネットワークも充実し、サーバー機が7台、コンピュータ室（40台、20台、20台）3室、図書館9台、LL教室8台、各普通教室に1台、150台程のコンピュータと徐々に整備している。現在は、情報コンセントを各部屋に設置し、校内のどこでもだれもがインターネットを利用可能にし、生徒も授業中だけでなく休み時間や放課後などに自由にコンピュータを利用している。

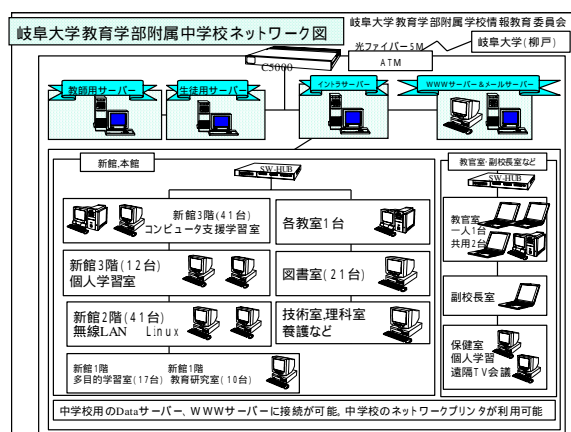


図 附属中学校ネットワーク図

## 3. 利用対象を明確にしたホームページ

全国の多くの学校が、徐々にホームページを開

\*1 ANDO Tadanobu : 国立大学法人岐阜大学教育学部附属中学校 (〒501-8482 岐阜市加納大手町 74)

\*2 ASANO Tatsuya : 国立大学法人岐阜大学教育学部附属中学校 (〒501-8482 岐阜市加納大手町 74)

設するようになってきている。生徒の学習活動や学校の特徴を出したサイトが多くなっているが、なかなかホームページを更新するゆとりがなく、提供している情報が固定化されている。又、個人情報やプライバシーを気にするあまり、子供たちの生き生きした表情がなくなっている。だから、もう一度ホームページを見てみようという意欲がわいてこないのではないだろう。

本校は利用対象を明確にし、ホームページの目的を教師や生徒や保護者に置き、以下のようなメニューを作り、内容を充実させている。

- 1) 教師のためのホームページ活用
  - ・ペーパーレス会議の実践（本校教官のみ）
  - ・教育実践資料指導案などの公開（一般）など
- 2) 生徒のためのホームページの活用
  - ・電子学級日誌，電子日番点検
  - ・Web学習教材の活用
  - ・スクールメールの活用
  - ・電子掲示板の活用など（本校生徒・校内専用）
- 3) 家庭と学校の連携のためのホームページの活用
  - ・生徒の活動のデジタル化（電子学級日誌等）
  - ・生徒の学校での様子のWeb上公開
  - ・教師と保護者との連絡や相談のEメール活用

わせ、生徒や保護者に軸足を置いたネットワーク「Open Education Network」を構築している。このシステムの構築により、ITを活用した新しい教育の改革を行っている。

教職員のコンピュータ活用技能および家庭のインターネット接続については、教職員26名のうち、本校導入ソフトウェア操作は26名全員が行え、それを活用した授業についても26名全員が行える状況である。また、入学説明会等での本校のIT活用を理解して頂いている関係で、すべての家庭でインターネットを接続できる環境（接続率100%）にある。また、各部屋には施錠することなく、いつでもどこでも出入りすることができる。コンピュータ室も同様である。このような環境であるので、情報モラルの在り方が重要になってくる。

#### 4. 情報モラルの育成に関して

生徒に一人につき1つのIDとパスワードを持ち、ネットワーク利用をしている。これは完全に自己責任を持たせるためでもある。ただ、ネットワークを運営する以上、生徒がどのようなネットサーフィンをしているか、ウィルス感染をしていることはないか、などをチェックする必要がある。本校の場合、プロキシサーバーを導入し、すべてのインターネットのログを管理している。これにより、どのコンピュータで、何時に、誰がログインし、どのようなWebページを見たかが確認できる。

今回、1年生でのネットワーク利用、家庭での正しいネットワーク利用を目指して、学年集会で説明をした。

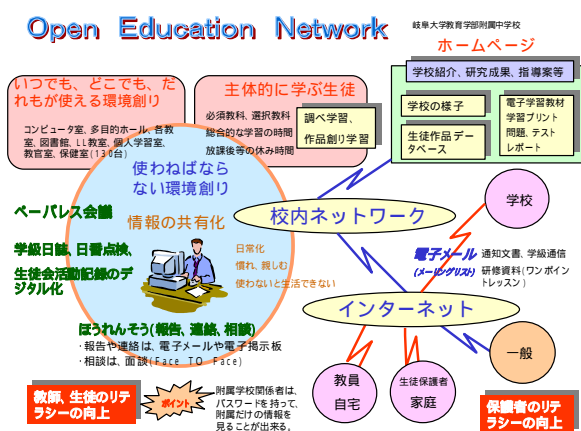


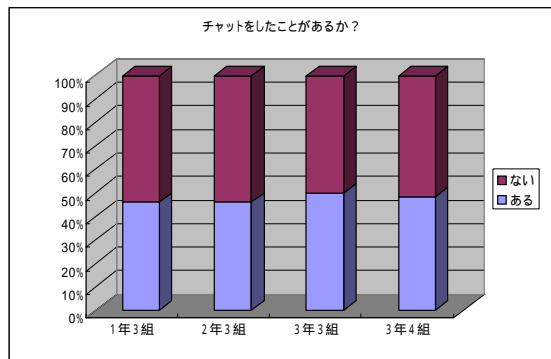
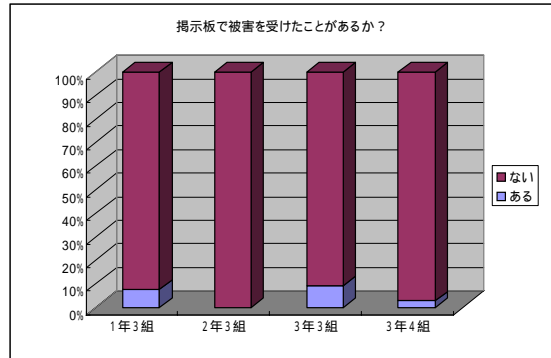
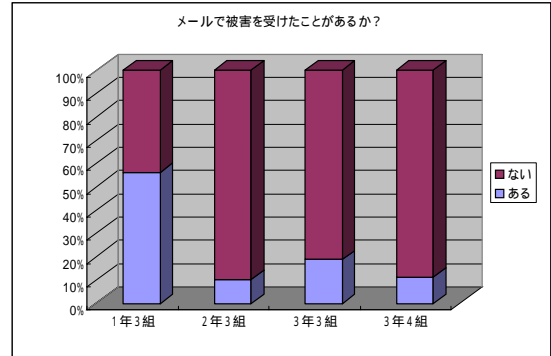
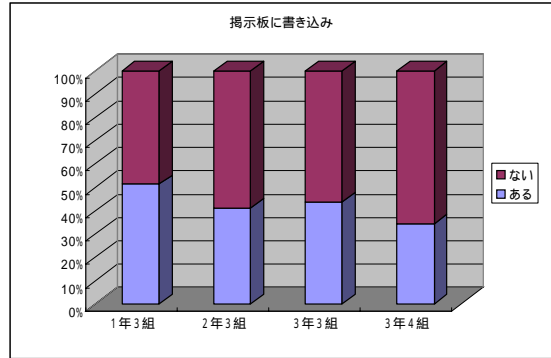
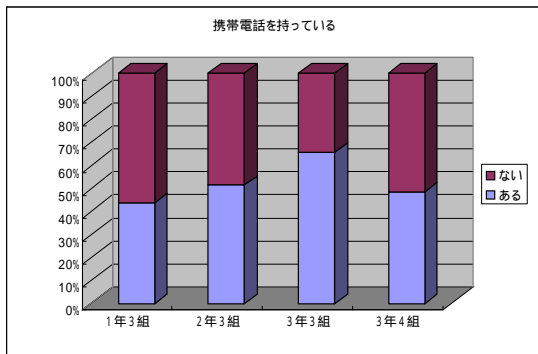
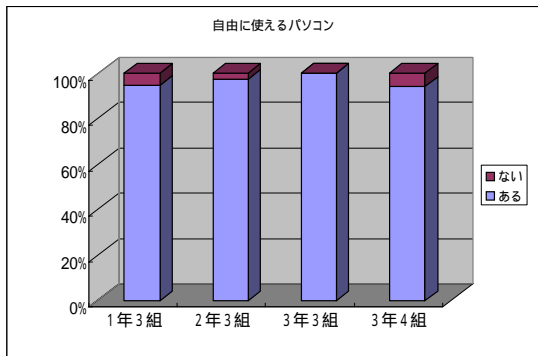
図 Open Education Network 図

このように、ホームページとEメールを組み合



図 学年集会の様子のWEB ページ

## 5. 情報モラルアンケート



自由に使えるパソコンは、ほぼ100%である。この状態で、掲示板やメールなどの利用について、正しい知識を身につけるようにすることが大切である。

## 6. 著作権教育に関しての実践

【研修】

音声映像などの著作権の在り方についての講話  
著作物についての Q&A ワークシートによる学  
習

「著作権どう教える－教員の意識改革が急務」

#### 【指導】

本校における情報モラルリテラシーの育成につ  
いての項目の作成した。

授業で、1年生理科の授業で、フリーウェアソ  
フトとシェアウェアソフトの違いと扱い方につ  
いて指導した。

著作権について認識を深め実践していく態度を  
育てるために、3年生選択教科（理科英語）に  
おいて、それまで学習してきたまとめを画像や  
文章をつかってプレゼンテーションソフトでま  
とめていく授業実践を行った。

職員及び生徒・保護者に対して、著作権の認識

## 7. 本年度の実践

情報モラルリテラシーの育成

ITを用いた授業実践(著作権教育に関わって)

(独)情報処理推進機構(IPA)の オープンソース  
ソフトウェア活用基盤整備事業『学校教育現場に  
おけるオープンソースソフトウェア活用に向けて  
の実証実験』について、Linux を利用したソフト  
ウェアの利用。



図 Linux PC を利用した授業



図 無線LANを利用した E-learning

学校教育活動についてリアルタイムでの情報公  
開

災害緊急時用メールの活用に向けて

総合的な学習での著作権配慮

インターネットで検索する場合利用許諾確認引  
用確認

ホームページ作成に関する承諾書必要

S A @を利用した学校評価を行っている。

## 8. 今度のネットワーク

安定で安全なネットワークを構築していくため  
に、附属学校のネットワークの見直し、岐阜大学  
とのシームレスな連携ができるように3月に学校  
内光ファイバー工事、ネットワーク再設定工事な  
どを行い、「安定・安全」のネットワークする予定  
である。

また、フィルタリングソフトの導入などを行い、  
不正アクセスに対する対策などを確実に行ってい  
きたい。それと同時に、情報モラル、著作権に対  
する意識などを高めていきたい。